

オオヒカゲ

澄川森林の基地でオオヒカゲをゲットしました。2018年8月6日の活動日でした。澄川森林の住蝶としては大きい方で開長70mmにも及びます。下翅裏の蛇の目は片翅に大きさが少し違って5個を配して、表側には影のような黒いしみのように裏抜けしています。分類としてはチョウ目、タテハチョウ科、ジャノメチョウ亜科となります。

飛び方はぎこちなくゆらゆらした感じですが、捕虫網に入れるのは簡単ではありません。逃げられても長くは飛びませんで、大きな翅を羽ばたくのにエネルギーが必要なのでしょうかね。すぐに止まってくれますので、諦めずに追跡すると捕獲するチャンスが訪れます。しかしですね、止まるにしても樹幹やクマイザサ



の葉陰に隠れるように止まりますので、目を離すと見失う羽目になりますので、追跡するにしても藪漕ぎのなかで足元にも目配せしながらですから、後期高齢者の身にはつらいものがあります。花には寄りません。獣糞や樹液にはよく止まりまして吸液します。

幼虫の食草はクサスゲで、澄川基地の湿地に繁茂しておりますので、澄川育ちなのであります。蝶になってからは森の中や林縁で背中合わせに翅を閉じて止まっていることが普通なので、なかなか目に止まりません。逃げるため

に飛び立ってくれるので捕まえ易くなるわけであります。出現は7～8月とみじかく、分布は北海道南部から本州、四国です。九州にはいないようです。

外国では中国、朝鮮半島、ロシア極東部とされています。(記 高野)



←幼虫



クサスゲ→